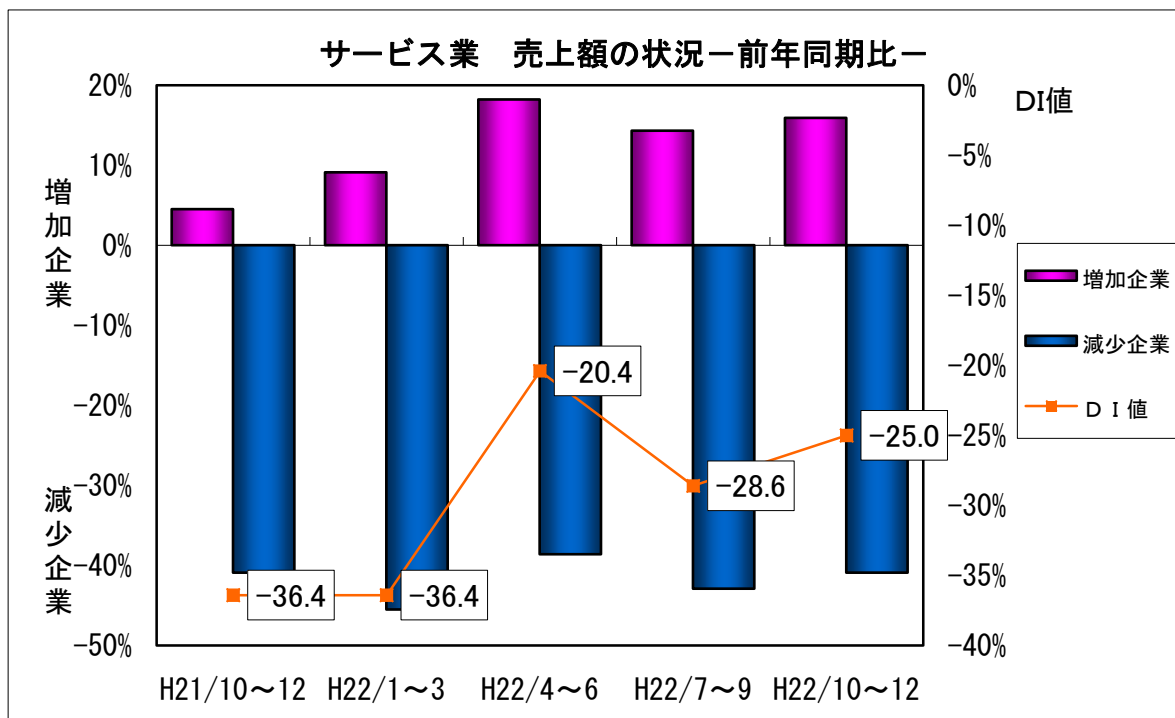


(2) 主要項目の概況

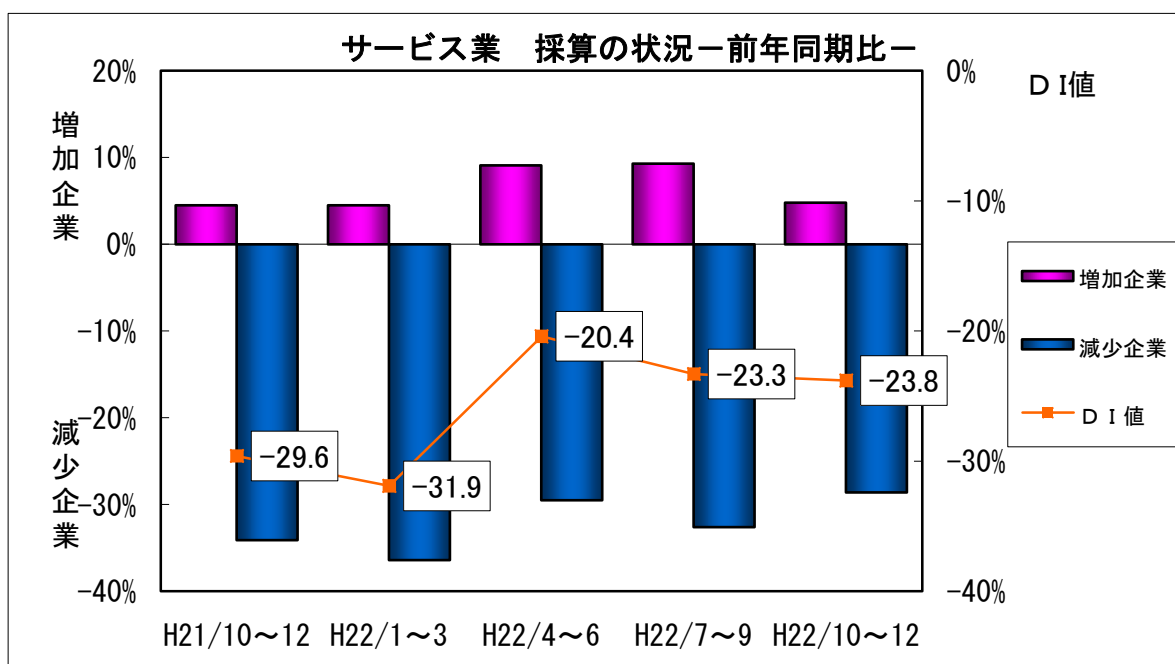
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス25.0。前期のマイナス28.6から3.6ポイントの上昇、小幅な回復。来期見通しは、マイナス38.1と大幅な悪化の見込み。



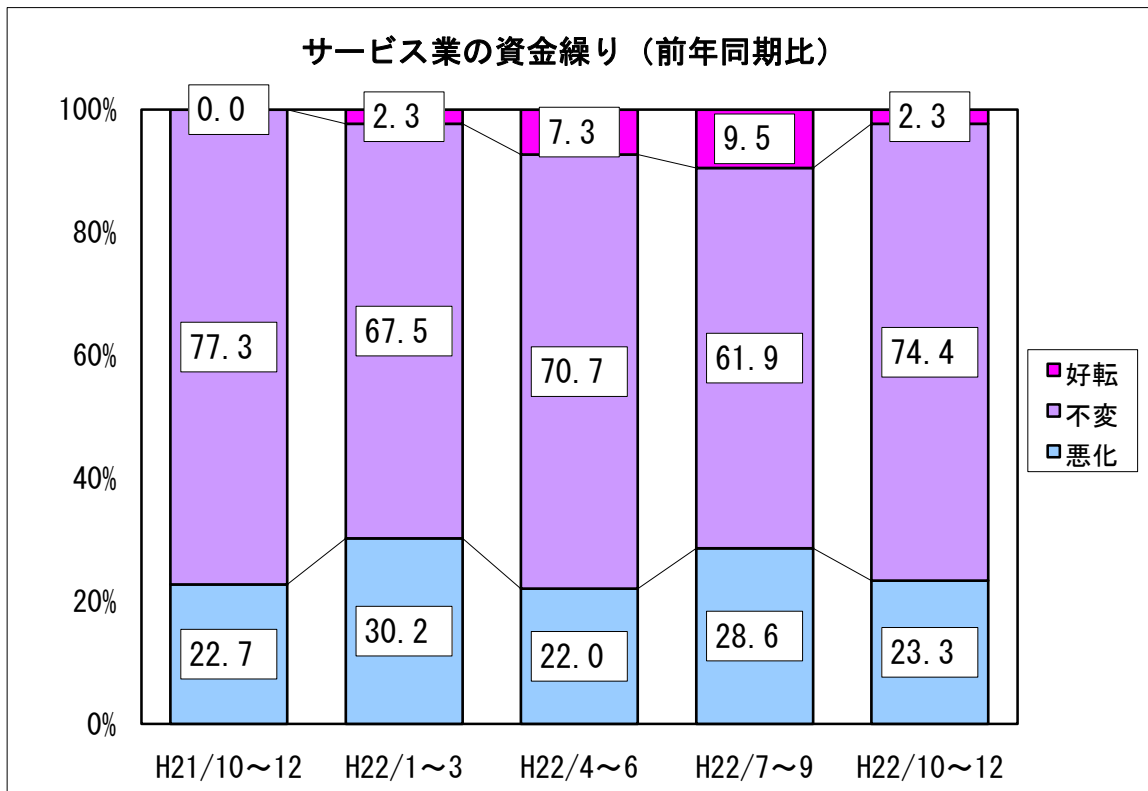
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス23.8。前期のマイナス23.3から0.5ポイント下降、やや悪化。来期見通しは、マイナス28.6とさらに小幅な悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 21.0。前期のマイナス 19.1 から 1.9 ポイント下降、やや悪化。来期見通しはマイナス 26.2 とさらに悪化の見込み。

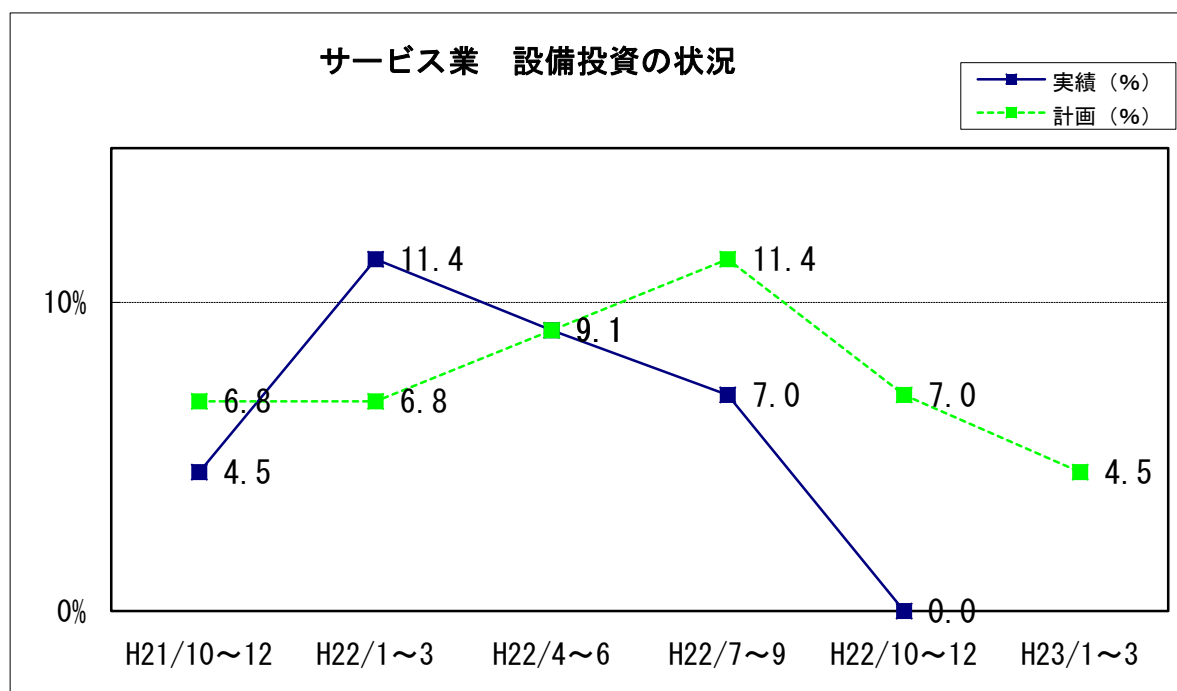


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サ ー ビ ス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	3 7.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	40 93.0
今期実施 (実数) (%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	44 100.0
来期計画 (実数) (%)	2 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	40 93.0

今期設備投資を実施した企業は0社(0.0%)。前期(平成22年7~9月期)の実施企業3社(7.0%)より3社減少。来期は2社(4.5%)が、車両・運搬具への投資を計画している。

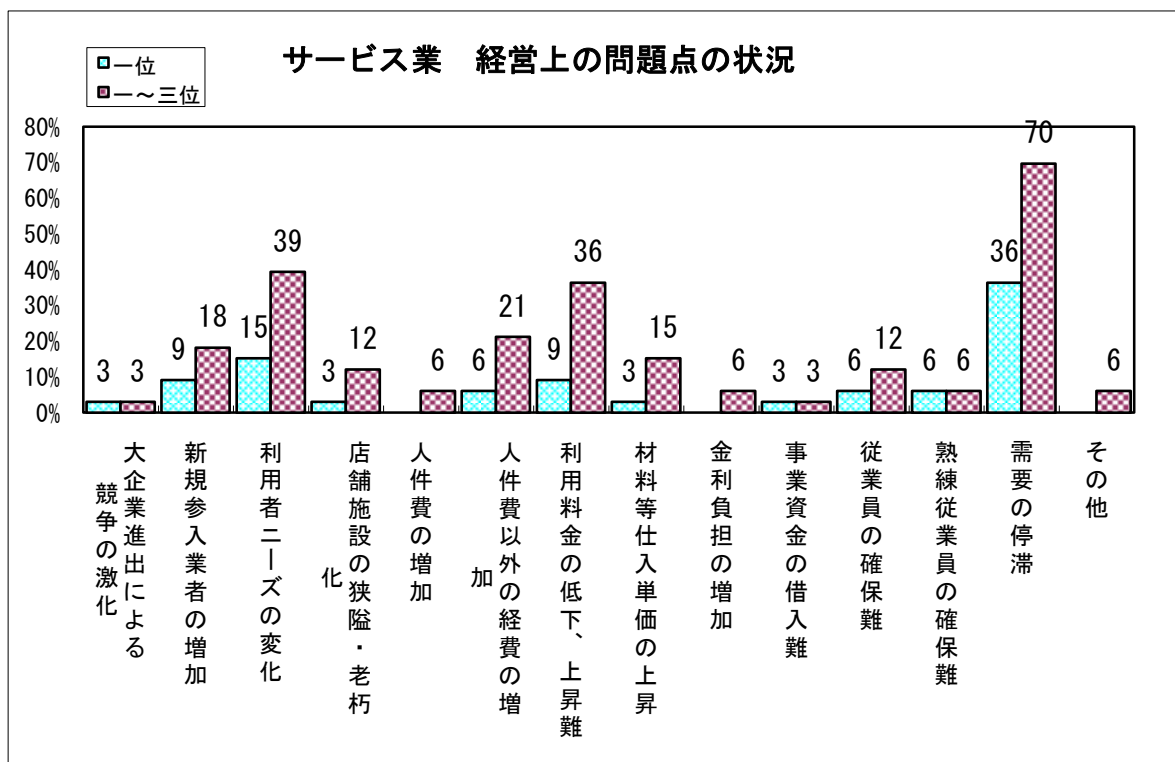


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 54.3%→今期 69.7%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 60.0%→今期 39.4%)
- ・ 「利用料金の低下・上昇難」 (前期 31.4%→今期 36.4%)
- ・ 「新規参入業者の増加」 (前期 22.9%→今期 18.2%)

となっている。



以上